

一般質問

市政全般にわたり18人の議員が質問 (要旨を掲載)

これ以上の緑の喪失を とめるために!

加藤 陽子 議員 《神奈川ネット》

河岸段丘等貴重な斜面緑地の残る座間のあちこちで緑のラインを分断する開発が続いています。本市では開発事業について開発等事業指導要綱をもとに対応していますが、緑の基本計画の改定に当たり、より積極的な取り組みが必要と考えます。第1に、相続税の優遇や買い取り時に国の補助のある特別緑地保全地区制度などの活用を精力的に働きかけること、第2に、緑化基準を条例により定め、しかも制限を強めること、第3に、開発事業に市民参加の仕組みをつくることです。

ちづくりとして開発事業に対する市や市民の役割を強めています。特に鎌倉市では、中規模・大規模の開発事業についてまちづくり条例で規定し、市民が提出した自主まちづくり計画を市の施策に反映させることや、開発事業者にも事業計画と調和させることを求めています。



使い勝手が悪い国の補正予算

沖永 明久 議員

国の2012年度補正予算における地方関連事業では、防災安全交付金や地域の元氣臨時交付金などが計上されています。防災安全交付金については国土交通省は「地方に使い勝手のよい交付金」としており、地方自治体には事業選択の裁量権はありません。また、地域の元氣臨時交

付金は、公共事業の地方負担分について最高90%まで交付されるというのですが、対象事業は地方債を財源とするものとなっています。要は「国のメニューに沿って公共事業をやれば地方の負担分はみてもあげましよう。しかし、その地方負担分の補てんは、新たな公共事業に使いなさい」し

かもそれは「地方が借金をして行う公共事業に限りますよ」ということです。今回の国の補正予算は霞が関の縛りが極めて強いもので、地方自治体の自立性、裁量性の拡大という地方分権に逆行するものと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 議員のお感じになつておられる印象、そのような受け止めを私もしております。国から示された対象事業以外は補助事業とならないということであれば、非常に事業選択が難しく、使い勝手が悪いというのが率直な印象として当然だと思います。

公共施設のトイレを洋式化に

安田 早苗 議員 《公明党》

高齢化が進む現代社会では、まちづくりにおいて今やバリアフリーは必要不可欠な要素です。にもかかわらず本市の公共施設はいまだに和式トイレが主流であるため、多くの市民が不便に感じ、衛生面からもトイレの洋式化を望まれています。

市長 切実な問題だと認識しています。市民文化会館ができた当時と今とはライフスタイルが変化し高齢化も進んでいるため、洋式トイレのニーズが膨らんだと感じています。振り向ける財源確保のため、国等の補助金メニュー等をしっかりと見ながら応えてまいります。

都市部長 新築や改修工事の公共施設整備に合わせ施設管理者と協議・検討し、順次トイレの洋式化を図ってまいります。



小児医療費助成のあり方を問う

上沢 本尚 議員 《公明党》

小児医療費助成について伺います。小児医療費助成対象年齢の拡大は、私たち公明党も推進しているところですが、各市の状況を見るにつけ、住

までしか対象にならない一方で、中学卒業まで医療費がかかるない地域が同一神奈川県内にあり、何とも納得のいかない矛盾に満ちた事業であると感じます。また、対象年齢

とは別に、所得制限の有無についても各市の対応が違うところも違和感があります。そこで、具体的な対象年齢拡大の方法ですが、受益者負担を導入することも一つであると考えます。例えば1割負担にしても、小学校卒業まで、あるいは中学校卒業まで小児医療費助成の対象を拡大できれば、市民の皆さんも真摯に考えていただけるのではないかと思います。市長のご所見を伺います。

「ザマリンピック」の開催を

芥川 薫 議員 《新政いさま》

市民運動会の開催について伺います。現在、市ではそれに当たるものとして市民レクリエーションがあります。市民レクリエーションは、さまざまな形式で長年開催されてきましたが、昨今では準備の大変さや参加者の減少などにより、運動会形式や地域で特色を持って行っているレクリエーション形式でのおおの開催されています。私は、こうして開催されている市民レクリエーションを決して否定しておらず、意義あるものと思っています。しかし、私が幼少の頃に開催されていた市民運動会の思い出がとも懐かしく、呼び戻ってまいります。

市長 大変すばらしいネーミングだと思います。「ざまりん」とオリンピックとをかけたインパクトがある名前で、非常におもしろいアイデアだと思います。提言として受けとめ、全体の地域のコミュニティの醸成について考えを深めてまいります。

市長 大変すばらしいネーミングだと思います。「ざまりん」とオリンピックとをかけたインパクトがある名前で、非常におもしろいアイデアだと思います。提言として受けとめ、全体の地域のコミュニティの醸成について考えを深めてまいります。

相武台地区の道路の安全対策と住居表示実施について問う

伊藤 正 議員 《新政いさま》

市道32号線と市道5号線が交差する場所にあるクランク型の交差点には、いまだに歩行者が滞留する安全地帯がなく非常に危険な状態が続いています。この場所の安全対策

とスーパーマルエツ方向の歩道整備の進捗状況について伺います。また、相武台地区の住居表示がことし10月に実施されま

本会議の概要

- ▽ 2月22日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明
- ▽ 2月25日 議案上程・総括質疑・委員会付託、議員提出議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論) 省略・採決
- ▽ 3月1日 一般質問
- ▽ 3月4日 一般質問
- ▽ 3月5日 一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託
- ▽ 3月22日 議案上程・委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、基地対策特別委員会中間報告・質疑、陳情上程・委員会付託、常任委員会等の所管事務調査、議員派遣、議員提出議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論) 省略・採決、閉会

なお、総括質疑、討論は、次の議員が行いました。

総括質疑(2月25日)
長谷川光(新政いさま)、中澤邦雄(日本共産党)、上沢本尚(公明党)、安海のぞみ(神奈川ネット)、池田徳晴(さま大志会)

討論(3月22日)
安海のぞみ(神奈川ネット)、上沢本尚(公明党)、中澤邦雄(日本共産党)、萩原健司(新政いさま)、沖永明久(会派に所属しない議員)、池田徳晴(さま大志会)

